



通信



中之島クリニック 内科副部長

西村 さやか (にしむら さやか)

初めまして。4月1日から当クリニックに赴任いたしました、西村さやかと申します。

平成14年に京都府立医科大学を卒業し、これまでは、京都府内の急性期病院を中心に消化器内科医として慌ただしい日々を送ってまいりました。そこでの日常診療において、消化器癌の患者さまの診療に携わる機会が多く、早期発見と進行した状態での発見ではその後の経過が大きく異なり、早期発見の重要性を痛感していました。また、良性疾患であった場合においても、症状が出ていないときに定期的な検査を受けることにより、状態を把握しておくことは、症状が出た際の診断や適切な治療の一助になりうることも感じていました。

この春からは当クリニックにて、これまでの急性期医療とは異なり病気につながる前に予防をすることを目的とした医療に携わる機会をいただき、高性能の画像機器、診断技術、チームワークとやる気のあるスタッフといった恵まれた環境の中で、受診者の皆様に気持ち良く検査を受けていただけるよう努力してまいりたいと思っています。

診察以外にも上部消化管内視鏡検査を担当させていただきますが、一般的に胃カメラは苦しいイメージをお持ちの方が多いたと思います。苦痛のない、かつ、正確な診断を心がけていきたいと思っております。また万が一病気が発見された際には迅速で適切な精査や治療が受けられるよう対応していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。

検査内容と注意点 ①頭部検査

診療放射線技師 主任 中山一基

今回からは、当院での撮影部位ごとの検査内容と注意点についてお話していきます。前回もお話ししましたが、当クリニックで稼働している MRI 装置は、医療機器としては最高出力の磁場を使用することができるシーメンス社製 3 テスラ MRI 「MAGNETOM Trio」です。

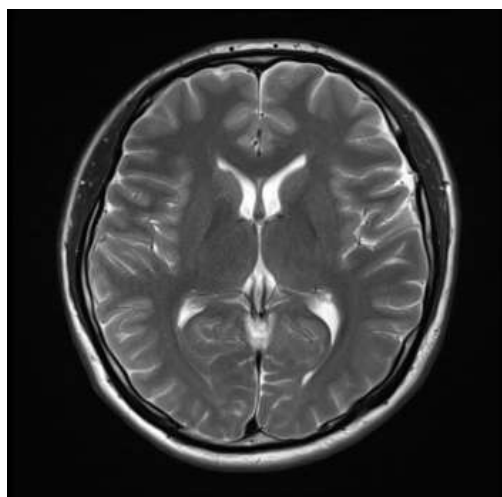


今回は頭部 MRI 検査についてですが、当院では MRI 検査全体の 6 割から 7 割を占めるスタンダードな検査で、3 T の高磁場になることでの恩恵を受ける検査部位のひとつです。

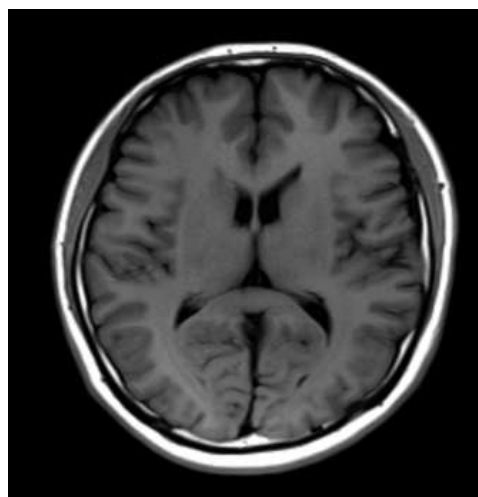
頭部	方向	シーケンス	Slice/Gap	Slice 数	FOV(mm)
ルーチン	横断	TSE T2	5.5mm/0.5mm	24	210
	横断	T1 FLAIR	5.5mm/0.5mm	24	210
	横断	FLAIR	5.5mm/0.5mm	24	210
	横断	DWI	5.5mm/0.5mm	24	210
	矢状断	TSE T2	5.5mm/0.5mm	19	210
	横断	TOF MRA	0.7mm/0mm	114	200
(造影)	横断	T1 SE	5.5mm/0.5mm	24	210
	冠状断	T1 SE	5.5mm/0.5mm	19	230

表 1：頭部ルーチン検査表

※造影の場合は T1 Flair→T1 SE に変更



横断：T2 強調像

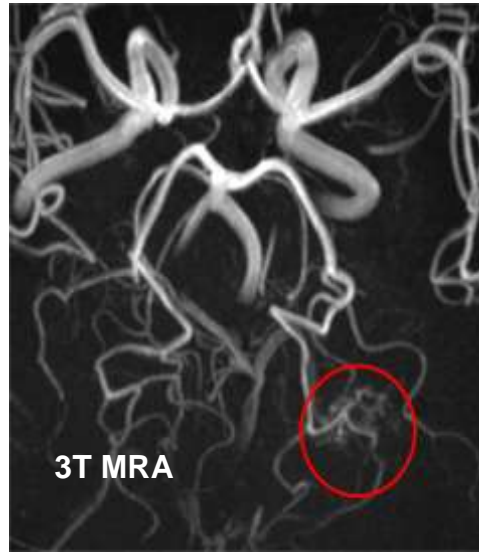


横断：T1 FLAIR 強調像

とくに TOF MRA は従来の高磁場装置 (1.5T) より薄いスライスでの撮影が短時間で出来るため、より高解像度な MRA がご提供できるようになっています。それにより従来の MRI では見つけにくかった微細な脳動脈瘤や動静脈奇形の発見に役立っています。



1.5T では描出しづらい動脈瘤が、3T でははっきりと描出されている例です。



AVM（動静脈奇形）が3T では描出されている例です。

単純ルーチン検査での撮影時間は20分程で終了します。造影剤を使用した場合は別途10分程度必要になりますので30~40分かかることとなります。その他、主治医の先生より指示がある場合と前回との比較が必要な症例、また撮影中に何か異常が見つかった場合には随時必要なシーケンスを加えて検査を行っています。

MRI検査中は大きな音がします。とくに、頭部検査の場合には音の発生部位と耳が近くなりますので、より顕著となります。当院ではヘッドホンで音を防ぐようにしていますが、とくに音が気になる方は、あらかじめスポンジタイプの耳栓をお持ちいただく事でより快適に検査をお受けいただけます。

3T MRIは頭部検査において、より威力を発揮するMRIです。これからも先生方により良い画像の提供に向けて邁進していきますので、どうぞよろしくおねがいします。

CT 造影検査の注意事項(ヨード造影剤)について

ビグアナイド系糖尿病用剤とヨード造影剤は、併用により乳酸アシドーシスをきたすことがあるため**併用注意**とされています。原因は、ヨード造影剤の投与により一過性の腎機能低下をきたす可能性があり、その結果、ビグアナイド系糖尿病用剤の腎排泄が減少し血中濃度が上昇するためと考えられています。

そのため、**ビグアナイド系糖尿病用剤の服用を中止**し、検査後48時間してから再開することが望ましいとされています。ビグアナイド系糖尿病用剤を使用している患者様の造影CT検査を依頼される場合は、あらかじめビグアナイド系糖尿病用剤の投与を一時的に(下記をご参照ください)中止する等の適切な処置をお願い致します。

造影CT検査のご依頼であっても、内服薬の内容が確認できない場合や投与中止等の処置がとられていない患者様においては、造影検査を見合わせることもございますのでご了承下さい。

ビグアナイド系糖尿病用剤の服用中止について

腎機能・血清クレアチニン値	造影CT検査前	造影CT検査後
血清クレアチニン値が正常	検査時より服用中止	※検査後48時間、服用中止
血清クレアチニン値が異常	48時間前から服用中止	※検査後48時間、服用中止

※但し、腎機能(血清クレアチニン値)が正常範囲内または悪化していない場合に、再開可。

ビグアナイド系糖尿病用剤一覧

一般名	商品名	規格	メーカー
塩酸ブホルミン	塩酸ブホルミン錠「ミタ」	50mg	東洋ファルマー
	ジベトスB錠	50mg	ガレン
	ジベトンS錠(腸溶錠)	50mg	寿製薬/ゼリア
塩酸メホルミン	グリコラン錠	250mg	日本新薬
	メルピン錠	250mg	住友製薬
	メデット錠	250mg	トーアエイヨー/山之内
	ネルビス錠	250mg	三和化学研究所

「編集後記」

今年も職場近くのソメイヨシノは満開で、春特有の大荒れの天気も例年よりは少なかったため長い間、私たちの目を楽ませてくださいました。散り際も見事に川面を桜の花びらで彩ってくれていました。

桜の季節が終わると新緑の季節。新たな息吹を感じる夏が始まります。

次号は7月ごろにお届けする予定です。よろしくお祈りします。

編集 中之島クリニック 編集部 まなこ